令和8年10月10日号

井の頭恩賜公園花便り





シュウメイギク（秋明菊）

「キク」の名がついていますが菊の仲間ではなく、アネモネと同じキンポウゲ科の植物です。原産は中国で古くから日本に野生化している多年草です。9月から11月にかけてキクに似た形の美しい花を咲かせるため、「秋に明るい花を咲かせる菊」という意味で秋明菊と名付けられました。一重咲きや八重咲きがあり、花色は白、ピンク、紅紫などがあります。

ノブドウ（野葡萄）

全国の山野や藪、川の土手などに自生するブドウ科のつる性落葉低木です。「野に生えるブドウ」でノブドウと呼ばれます。緑色から白、青、紫、ピンクなどカラフルに色づく美しい実ですが大きさや形が揃っていません。これはタマバエなどの幼虫が入り込んだ「虫こぶ」です。生食では食用に向かず、苦味や渋みがあるので焼酎などにつけて果実酒にされます。



※花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所（TEL0422-47-6900）までお問い合わせください。